



# CALFA "BAC"

あなたに代わって「24時間」水の濃縮度を管理

アメリモマケズ・・・「24時間/365日」不休不眠で働き続ける「タフ」な技術者。

## ■ CALFA"BAC" (自動ブローダウン装置)

水の濃縮度が進むと、冷却塔・熱交換器に「スケール障害」が発生して適切な熱交換率管理に影響します。故障しやすい「液体薬剤注入装置」と連動した排水システムではなく、シンプル設計で経済的な「濃縮度管理&排水システム」です。

CALFA"BAC"で水中の「電気伝導度」を計測し、電動ボール弁を制御（解放&閉鎖）します。任意の電気伝導値を2点（高・低）登録いたします。水の濃縮が進み、電気伝導度が「高」の値に達した時点で、電動ボール弁が解放され、「低」の値まで排水し続けます。この範囲の中で常に「最適な水質」で冷却水をコントロールし、あなたに代って面倒な「水の濃縮度管理」を CALFA"BAC" が全て自動で行います。

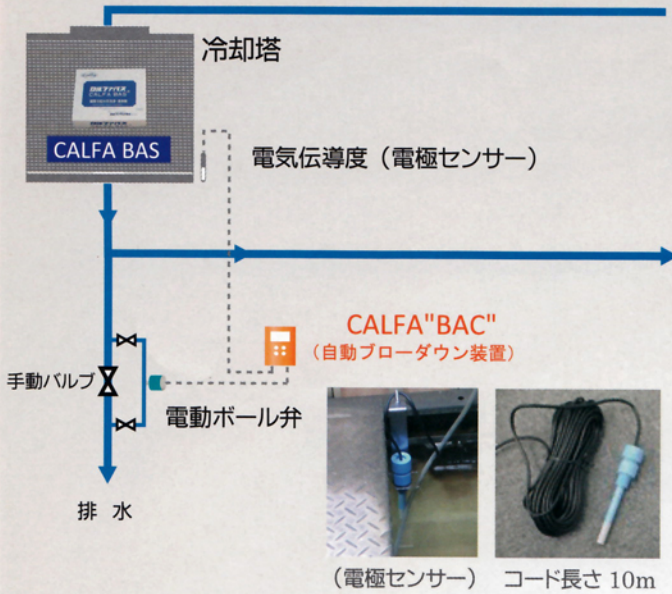
■ 「95% メンテナンスフリー」※ 電極（センサー）のメンテナンスあり

■ 余計な機能をなくし、「シンプル」で「わかりやすい」インターフェース

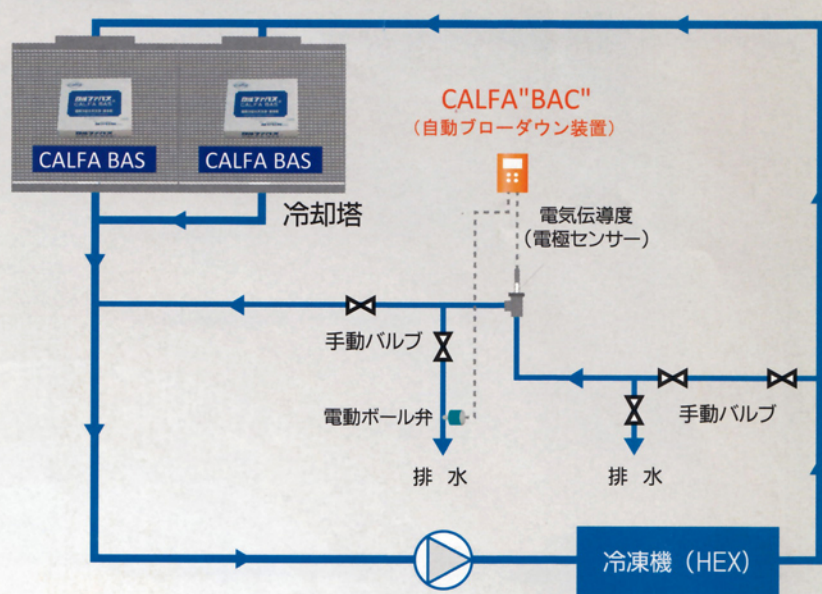
■ 電気伝導度管理なので、季節（外気温）により排水プログラムの変更なし

■ スケルトン・ボックスを採用する事により、いつでも外側から数値を確認

## Case.1



## Case.2



[Case.1] 小型クーリングタワー 1 台での使い方です。

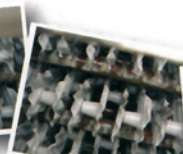
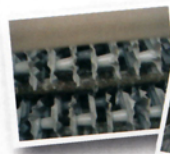
クーリングタワー下部の「排水管」を延長して増設致します。塔内清掃の際に異物を排出しやすくする為に、電動ボール弁は必ず左図のように「バイパス」を組んで取り付けして下さい。(鉄管・塩ビ管 / 可能)  
電気伝導度を計測する「電極センサー」はクーリングタワー内部に引き込み、センサー先端が冷却水に浸かるように配置します。

[Case.2] 「水質 1 種類」 = 「CALFA BAC 1 台」

クーリングタワーが連結されていても、「1 系統 (水質が 1 種類)」であれば、CALFA BAC (自動ブローダウン装置) も 1 台で結構です。循環系配管に「電極センサー」を配置するのが理想ですが、クーリングタワー内部に配置する場合は、メインで稼働するクーリングタワーに配置して下さい。

### 主な製品仕様

型 式	CALFA"BAC"-B 型
定格電源電圧	AC220V 50/60Hz ±12% 単相
平均消費電力	10VA 以下
周 囲 温 度	0 ~ 80℃
伝導率測定範囲	0 ~ 2000 μS/cm
伝導率設定範囲	2 点設定 (0 ~ 2000 μS/cm)
ディスプレイ	3.5 インチ LCD (ブルーバックライト)
本体重量 (制御 BOX)	4.6Kg (専用防水カバー含む)
本体寸法 (制御 BOX)	248(W) × 248(H) × 185(D) /mm
本体取付ボルト径	6.5mm Ø
電動ボール弁制御出力	接点容量 AC220V 5A (抵抗負荷)
本 体 材 質	PC (ポリ・カーボネート)
※電極 (センサー)・電動ボール弁の仕様に関しては、お問い合わせください。	



**カルファバス®**

冷却塔内部には、弊社の水処理剤 CALFA BAS (カルファバス) をご使用をお勧めします。"CALFA BAS" がすでに付着した熱交換器内のスケールをクリーニング致します。熱交換器内の異物を除去しなければ、いくら「水質浄化」をしても「省エネ効果」は得られません。

【製造元】

CALFA CHEMICAL



**カルファケミカル株式会社**

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-19-6  
TEL:045-504-1120 FAX:045-501-0843  
WEB:http://www.calfa.net

**株式会社 トチギ**

〒338-0012 埼玉県さいたま市中央区大戸 5-24-16  
TEL.048-832-2578  
FAX.048-831-6082